

平成 22 年度 文化芸術活動に関するアンケート調査 集計結果報告

実施結果概要

文化芸術振興基本計画に、日頃、文化芸術活動を行っている市民の声を反映させるため、アンケート調査を実施しました。

対 象	大和市文化芸術連合会登録団体
実施期間	平成 22 年 7 月 29 日 (木) ~ 8 月 13 日 (金)
回答数	アンケート依頼件数：61 件 回答件数 (回答率)：50 件 (82%)
内 容	団体の活動状況、活動上の課題や工夫など

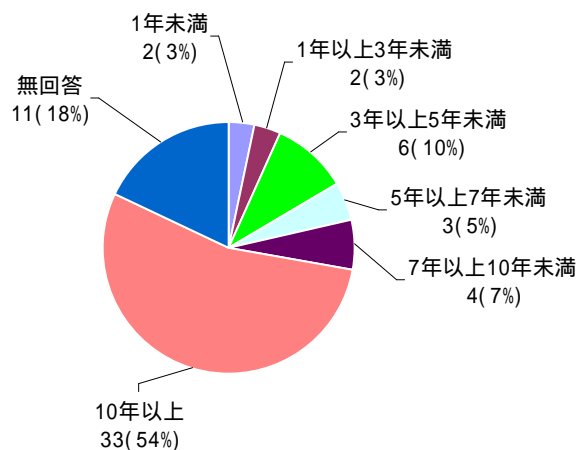
集計結果

活動期間について

貴団体の活動期間について、あてはまるものに1つ「 」をつけてください。

「10年以上」の団体が33団体と最も多く、全回答数の5割以上を占めており、継続して団体の運営が行われていることが分かりました。

活動期間	回答数	比率
1年未満	2	3%
1年以上3年未満	2	3%
3年以上5年未満	6	10%
5年以上7年未満	3	5%
7年以上10年未満	4	7%
10年以上	33	54%
無回答	11	18%
総計	61	100%



団体の構成員について

構成員の数について、あてはまるものに1つ「 」をつけてください。

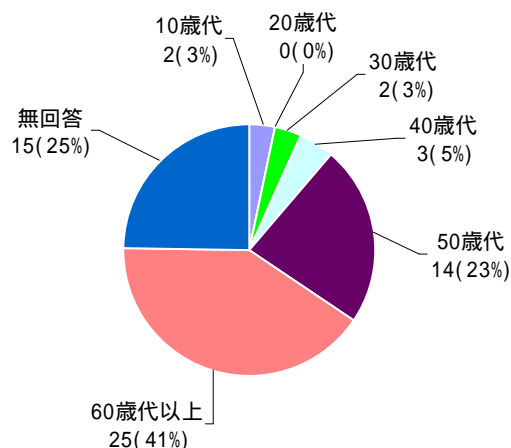
「11~20人」の団体が13団体(21%)と最も多く、次いで「21~30人」の団体が11団体(18%)となっており、30人以下の団体が全体の5割以上を占めています。一方で101人以上の団体も11団体(18%)と多く存在していることが分かりました。

構成員数	回答数	比率	構成員数	回答数	比率
10人以下	8	13%	51~100人	4	7%
11~20人	13	21%	101人以上	8	13%
21~30人	11	18%	無回答	11	18%
31~50人	6	10%			
			総計	61	100%

構成員の主な年齢層について、あてはまるものに1つ「 」をつけてください。

構成員の主な年齢層は、「60歳代以上」が、25団体（41%）で最も多く、次いで「50歳代」の団体が14団体（23%）となっており、この2つの年代で6割以上を占めていることが分かりました。一方、40歳代以下の構成員は極端に少なく、特に20歳代が中心となって活動を行っている団体は、今回の対象団体には全くいないことが分かりました。

構成員の主な年齢層	回答数	比率
10歳代	2	3%
20歳代	0	0%
30歳代	2	3%
40歳代	3	5%
50歳代	14	23%
60歳代以上	25	41%
無回答	15	25%
総計	61	100%



活動上の課題について（全体集計）

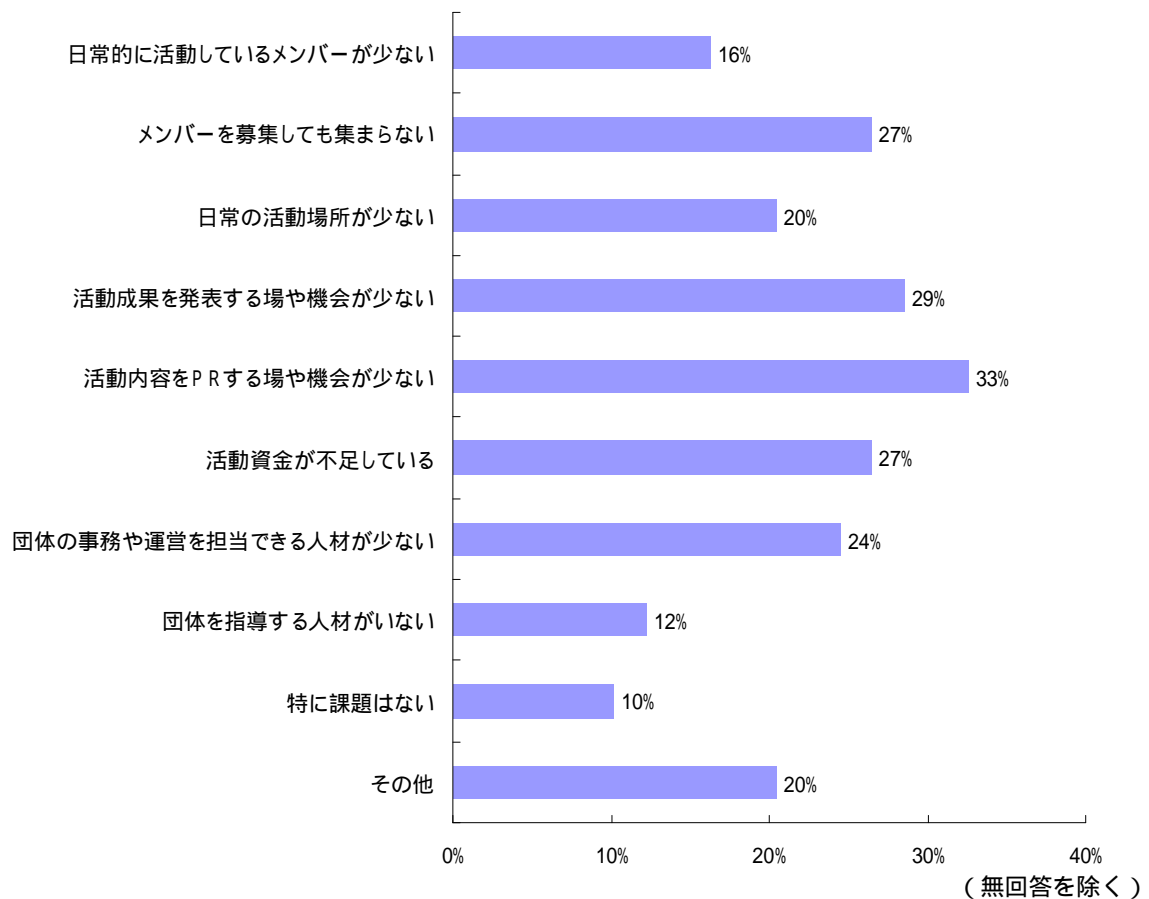
活動する上で課題を感じていることは何ですか。次にあげる項目の中から、3つまで「 」をつけてください。

- 1 日常的に活動しているメンバーが少ない
- 2 メンバーを募集しても集まらない
- 3 日常の活動場所が少ない
- 4 活動成果を発表する場や機会が少ない
- 5 活動内容をPRする場や機会が少ない
- 6 活動資金が不足している
- 7 団体の事務や運営を担当できる人材が少ない
- 8 団体を指導できる人材がいない
- 9 特に課題はない
- 10 その他

活動上の課題は、「活動内容をPRする場や機会が少ない」が、回答のあった49団体のうち16団体（33%）と最も多く、また、複数回答の中では、14団体（29%）が「活動成果を発表する場や機会が少ない」、13団体（27%）が「メンバーを募集しても集まらない」と「活動資金が不足している」ことをあげています。

その他の自由意見としては、「若い人を募集しても集まらない」、「構成員の高齢化」といったメンバーの募集や構成に関する事、「練習場所の確保が難しい」などの回答が寄せられました。

<活動上の課題（全体集計）>



活動上の課題について（部門別集計）

上記の設問を舞台部門の団体、展示部門の団体、民間の文化施設がどの項目を選んでいるかを探るため、部門別に分けて集計を行いました。

演劇、音楽、舞踊などの舞台部門の団体では、回答のあった18団体のうち7団体（39%）が、「活動内容をPRする場や機会が少ない」、「活動資金が不足している」ことを、活動を続けていくうえでの課題であると答えています。次いで、「メンバーを募集しても集まらない」、「団体の事務や運営を担当できる人材が少ない」といった項目（ともに6団体（33%））が続いており、人材面での不安を感じている団体が多いことも分かりました。

文芸、美術、写真などの展示部門の団体では、回答のあった21団体のうち7団体（33%）が、「活動内容をPRする場や機会が少ない」、「活動成果を発表する場や機会が少ない」ことをあげており、次いで、舞台部門と同様に、「メンバーを募集しても集まらない」、「団体の事務や運営を担当できる人材が少ない」こと（ともに6団体（29%））が上位を占めています。発表する会場が少ないという意見は、舞台部門の団体でも上位（5団体（28%））となっており、ホール、ギャラリーの施設を充実してほしいという市民の思いは、依然として強いことが分かります。

舞台部門と展示部門の団体の意見の中で最も違いが顕著なのは、「活動資金が不足している」という項目であり、舞台部門の団体では、最も高い割合（39%）であったのに対して、展示部門では0%と大幅な違いがみられます。

民間のホール、ギャラリー等を運営している団体では、回答のあった8団体のうち2団体が「特に課題がない」と答えています。一方、課題があると答えた団体は、「活動資金が不足している」を感じているのが大半であることが分かりました。

<活動上の課題（部門別集計）>

活動上の課題	舞台部門 (演劇・音楽・舞踊 等18団体)		展示部門 (文芸・美術・写真 等21団体)		民間ホール・ ギャラリー等 (8団体)	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
日常的に活動しているメンバーが少ない	1	6%	5	24%	1	13%
メンバーを募集しても集まらない	6	33%	6	29%	1	13%
日常の活動場所が少ない	2	11%	5	24%	0	0%
活動成果を発表する場や機会が少ない	5	28%	7	33%	0	0%
活動内容をPRする場や機会が少ない	7	39%	7	33%	2	25%
活動資金が不足している	7	39%	0	0%	5	63%
団体の事務や運営を担当できる人材が少ない	6	33%	6	29%	0	0%
団体を指導できる人材がいらない	1	6%	4	19%	1	13%
特に課題はない	1	6%	2	10%	2	25%
その他	5	28%	3	14%	0	0%
総計	41		45		12	

(無回答を除く)

活動上の工夫について

メンバー確保のための工夫（自由記述）

活動上の課題で、1、2に「 」をつけた団体のみお答えください。

- 1 日常的に活動しているメンバーが少ない
- 2 メンバーを募集しても集まらない

「市広報」(4件)、「タウン誌」(2件)、「チラシ」(2件)、「インターネット」(1件)といった情報媒体を活用しているといった回答のほか、「発表会場での募集」(7件)、「メンバーが勧誘」(3件)、「クチコミ」(2件)、「お試し参加」といった構成員の日常的な活動や発表の場を捉えて、メンバーの確保を行っているという回答が寄せられました。

活動や発表の場の確保の工夫（自由記述）

活動上の課題で、3、4に「 」をつけた団体のみお答えください。

- 3 日常の活動場所が少ない
- 4 活動成果を発表する場や機会が少ない

「施設の利用抽選に参加」(3件)、「手分けして申し込む」といった構成員の努力のほか、「合同発表会」(2件)、「文化イベント、展示会への参加」(2件)、「屋外での発表」、「民間施設や市外施設の利用」などの意見が寄せられました。

活動内容PRの工夫（自由記述）

活動上の課題で、5に「 」をつけた団体のみお答えください。

- 5 活動内容をPRする場や機会が少ない

「市広報」(2件)や「掲示版」、「インターネット」の活用、「会報」や「案内ハガキ」の作成のほか、「発表会の開催」(2件)、「各種イベントへの出演」、「学校への訪問」、「クチコミ」、「見学会の開催」などの回答がありました。

活動運営上の工夫（自由記述）

活動上の課題で、6、7、8に「 」をつけた団体のみお答えください。

- 6 活動資金が不足している
- 7 団体の事務や運営を担当できる人材が少ない
- 8 団体を指導できる人材がいない

活動経費面の工夫としては、「助成金の申請」(2件)、「会員から負担金の徴収」、「会場使用料の減免申請」、「活動経費の削減努力」などの内容が寄せられました。また、運営面については、「事務・運営に長けた方の起用」、「幹部の定期的な運営会議の実施」などの意見が寄せられました。

そのほか、活動を続けていく上で、貴団体ならではの工夫をされていることがありましたら、ご記入ください。(自由記述)

上記の設問で回答した内容を改めて書かれている団体が多くありましたが、「気軽に参加できるよう会費等を安価に設定する」(2件)、「イオンの黄色いレシートキャンペーンへの参加」といった取り組みを行っている団体などがみられました。

文化芸術の振興について

文化芸術の振興に関して、ご意見がありましたら自由にお書きください。

49件の意見が寄せられました。その内容を大別すると次のとおりです。

<文化芸術振興施策の取り組みについて>

[主な意見]

- ・気楽に芸術に触れることのできる環境をつくる必要があると思う。(2件)
- ・若い人を文化芸術に向けることが、大和市の場合遅れていると思う。小学校、中学校ともに文化に向かう姿勢を育てる企画がほしい。
- ・大和にはとても良い郷土芸能があるが、後継者が育っていないので、市の方で方策を考えてほしい。
- ・日本の伝統文化を紹介する取り組みが必要と思う。
- ・市民の提案によるイベントの実施
- ・予算の十分な確保及び適正な執行

<文化芸術振興基本計画について>

[主な意見]

- ・文化芸術振興基本計画の策定にあたっては、過去の文化歴史行政を徹底的に総括して、その反省事項を視点に着々と推進して頂きたい。
- ・文章だけのことに終らず、実際の活動が重要である。市のみならず我々団体も積極的に参加していきたい。

<団体のPR、活動への助成について>

[主な意見]

- ・文化芸術活動を活発にするためのPRを充実してほしい。(3件)
- ・市の広報によるPRを充実してほしい。
- ・インターネットで毎月の文化芸術連合会会員のお知らせは大変に良いと思う。
- ・団体への活動に対し、助成を行ってほしい。(2件)

<練習・創作、発表の場の確保について>

[主な意見]

- ・芸術文化ホールの建設に期待している。(5件)
- ・合同イベントができるようなギャラリーを整備してほしい。(4件)
- ・活動の発表の場がほしい。(2件)
- ・施設内容の充実を望む。(2件)
- ・設備備品の点検を徹底してほしい。

<交流の場の確保、充実について>

[主な意見]

- ・ 絵画・芸術、音楽・踊りなど幾つかにまとめて情報交換を行えば有効的な交流が出来るのではないか。(2 件)
- ・ 昨年発足した文芸連は横の繋がりができて大変良い事だと思う。(2 件)
- ・ 団体の意見交換を、半年～1年に何回かできたら良いと思う。

<市職員に対して>

[主な意見]

- ・ 学校教師、文化に携わる人々、行政の文化芸術担当の会合を設けてはどうか。
- ・ 大きな団体だけではなく、小さいサークルの育成を促す優秀な担当者を配置してほしい。

<その他>

[主な意見]

- ・ 地域のために、これからも文化の向上に寄与していきたい。(3 件)
- ・ 市として、文化芸術に力を入れていただけるようになり感謝の思いで一杯である。(2 件) など。